

梨の花



市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

親子の交感を大事に、今こそ家読（うちどく）を

校長 清田 博之

梅雨の真っ只中、じめじめとしたうっとおしい日々が続きます。それが終わり、夏休みに入ると同時に夏本番の厳しい暑さ…となるのでしょうか。暑さを吹き飛ばすべく家族で外出し、外の空気をめいっぱい吸いたいたところですが、今年も昨年に引き続き大変厳しい状況です。そんな中、SNSを通して「室内でできる簡単運動」「料理作り」「家族で楽しめるゲーム」等々、様々な動画が配信されています。家の中で、家族揃っていろいろな過ごし方があると思いますが、これらの中に是非入れてほしいことについてお話しします。

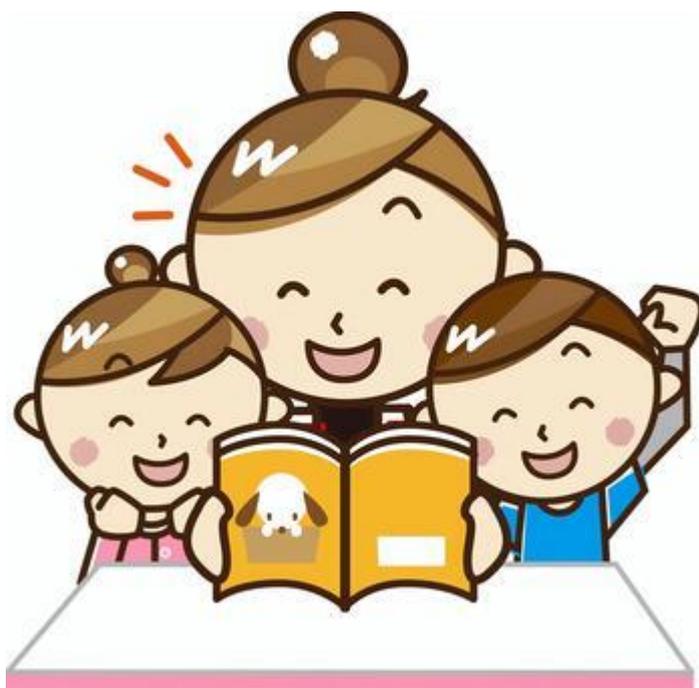
昨今、外で飲まないで家の中で飲酒を楽しむ「家飲み（いえのみ）」が流行っているそうです。それに習って「家読（うちどく）」をされてみてはいかがでしょうか。家の中で読書をするのですが、「子どもだけ」「大人だけ」でなく、家族揃って全員で一冊の本を読み合うのです。

もう約六十年前になりますが、児童文学者で鹿児島県立図書館長をされていた椋鳩十さんが、「母と子の二十分間読書」なるものを提唱されました。「『教科書以外の本を、子どもが二十分間くらい読むのを（音読するのを）、母がかたわらに座って静かに聞く』、ただこれだけのことを続けましょう」という内容でしたが、その後大きな運動となり、全国に広がりました。昭和三十年代の頃です。親がまだ十分わが子に関われない中、二十分間という時間を生み出すことにより、本の世界を通して子どもと親に深い絆ができていきました。子どもが感じる喜びや悲しみ、感動や驚嘆などが親の心にも響いていったのです。

昭和の時代が終わり、平成から令和という新しい時代になっている今こそ「母と子の二十分間読書」の心根を「家読（うちどく）」という形で復活させることが大事ではないかと考えるのです。

「子どもが読むのを親が聞く」だけでなく、「一冊の本を子どもと親が交代で読み合う」「親が読むのを子どもが聞く」など、やり方は自由です。さらに兄弟等いれば、全員で交代読みしてもいいでしょう。さらに、読むだけでなく、読み終わったら感想を出し合ってみるのも楽しいですね。椋さんは、漫画でもいいですとも言っています。文字がたくさんある書物だけでなく、時には漫画や図鑑、絵本などもよいと思います。絵本といえば、「読み聞かせ」という形もありますね。

「家読（うちどく）」を通し、親子が感動を交感・共有し、家族のコミュニケーションを深め、しっかりと絆を築き、楽しく明るく充実した夏の日々を送ってください。



家庭学習についてのアンケートをとりました (3年生～6年生)

①家庭学習にどう取り組んでいるか？

宿題と自主学習の両方をやっている 48% 宿題のみをやっている 49%

②自主学習をやっている子の主な内容

計算74% 漢字練習61% 文章問題35% 音読17% eライブラリ7%
その他50%

③自主学習に取り組まない子の理由

他の学習に時間がかかり余裕なし44% 何をやったらいいかわからない46%
必要性を感じない18% その他15%

④平日の学習時間 (塾での学習や塾の宿題以外の学習時間)

2時間以上:3% 1時間30分～2時間:7% 1時間～1時間30分:9%
30分～1時間:35% 30分以内:29% ほとんどしない:16%

⑤休日の学習時間 (塾での学習や塾の宿題以外の学習時間)

2時間以上:5% 1時間30分～2時間:6% 1時間～1時間30分:8%
30分～1時間:28% 30分以内:31% ほとんどしない:20%

- ③の「何をやったらいいかわからない」という子どもが少なくなるように、他の子の例を紹介したり担任が相談にのったりすることも進めていきます。
- いくつかの民間会社の調査データによると、小学生の平日の学習時間の平均は高学年で1日に50分程度だそうです。時間だけにこだわるのは意味がありませんが、稲荷木小の児童の「学習時間はやや少ない」といえそうです。宿題と自主学習、バランスよく取り組み、家庭学習の習慣が身につくよう指導していきます。

不審者対応訓練 7月2日(金)



侵入した犯人から身を守るため教室の入り口を塞ぎ、ベランダ側に集まり、机の下に隠れました。



不審者役は市川警察の方。後で大事なポイントについてご指導いただきました。

今から20年前、小学校に不審者が侵入をして数人の児童が犠牲になるという痛ましい事件が発生しました。この事件を教訓に、「学校の安全、児童の命を犯罪者からどう守るか」という備えや訓練を毎年行っています。職員の動きのポイントとしては、「時間をかせいで、警察の到着を待つ」でした。この訓練のあと、市川警察の方からは、外で不審者に出会った場合の行動「いか・の・お・す・し」について教えていただきました。

☆お願い 体調不良等で遅刻して登校する場合、安全確保のために保護者の方と一緒に登校していただくようお願いします。なお、扉は閉めますが施錠はしてありません。